

The Japanese  
Society of  
Practitioners for  
Pediatric Dentistry

# JSPP

【入会方法】JSPPのHP (<http://www.jspp.net/>) より入会資料請求フォームに記載の上、ご請求ください。

年会費 10,000円、入会金 10,000円

## 「親友ライオン丸のこと」



全国小児歯科開業医会 理事  
吉田 昊哲  
南山手小児歯科、横浜市開業

私事にはなるが、来年は開業30年になる。開業してそろそろ眼が外を向き始めた頃JSPPが発足したので、それでもずいぶん永く深いお付き合いをさせていただいていることになる。

しかし、会の運営にはどうも向いていないようで、理事歴ばかり長く相変わらず皆さんに「おんぶにだっこ」、常に申し訳なさを感じている。

また月刊「小児歯科臨床」には、これまた多くのチャンスを受け、執筆させて頂いた。中でも単著、小児歯科臨床叢書「小児歯科へのアプローチ」(東京臨床出版)の編纂にあたって高橋正人編集長にはずいぶんとお手を煩わせてしまった。毎回のご迷惑とも合わせて、改めてお詫び申し上げる次第である。

私の人生の一大テーマはなんといっても「小児歯科」である。これを大きな部分で支えてくださったのがJSPPである。羽田先生、丸山先生、田中英一先生、國本先生と、掛け替えのない親しい友人も作らせて頂いた。特に私の親友、ライオン丸(國本先生がつけた彼の愛称、言い当てていて妙に楽しい!)こと元会長澤野宗重先生とは同い歳、高校時代の予備校仲間である。彼との付き合いも50年になろうとしている。人生の大半に等しい。しかし、予備校以外一度として同じ屋根の下で学んだ事はない。まさか彼が同じ歯科の世界で、しかも同じ小児歯科専門医を目指す事になろうとは奇縁である。

喧嘩もした。共に夢中で趣味を語った事、終電を忘れ、真っ直ぐに歩けなくなるほど呑んだ事も。つい先日もなかなか二人の都合が合わず、実現しなかったが、念願の長者ヶ崎の別荘に招いてくださった。相模湾の

素晴らしい眺望を前に、久々で楽しい語らいの半日を過ごさせて頂いた。「これで場所が判ったね!一人で遊びに来られるね!」

これからも親しさの変わることはないだろう。

彼が会長時代、会員資格の拡大、名称変更の議題をめくり、共に関西の先生方とはずいぶん意地を張り合い、そして議論を戦わせて頂いた。懐かしい思い出である。

それと私の長男が先生の地元でこの春、「小児歯科、矯正歯科」を掲げて開業をさせて頂いた。知らないところで助言をしてくださっているに違いない。親として本当にありがたい事だと思っている。

一つ自慢話を、随筆家の顔をもつ彼の著書「ドク・ホリデーと呼んでくれ」の文中には確か、私が二度、三度と登場する。同じ時代を、小児歯科という路を、共に歩めた事、これは私にとって宝物に等しい。この仲を取り持ってくださったのがJSPPである。彼の風貌、掛け値のない育ちの良さ、穏やかな語り口、彼と話をしていると不思議と落ち着きを感じる。彼の人柄でもあり、懐の深さにもあるようだ。そして、どうも「一生の友」になる事は確かなようだ。

彼とのこれからの目標、それは共に「可愛いおじいちゃんになろう!!」

意見をひとつ!! 常日頃より憂いている事、このままではJSPPは高齢化の一途である。会員の年齢分布に高低差のない組織作りを目指して欲しい。愛して止まない「小児歯科」、衰退の道だけは歩まないで欲しい。いつの時代も子どもが絶える事はない。子どもたちは我々を求めているはずである。数は少ないものの、大学の小児歯科学講座で頑張っている夢多き若者も、そのほとんどが我々を目標に小児歯科専門開業医を目指している。今一度胸襟を開き、原点に返って考えて欲しい。そしてJSPPの目標に掲げて欲しい。「若き小児歯科専門開業医の育成を!!」

おじいちゃんになるにあたって、私の望みはただそれだけである。